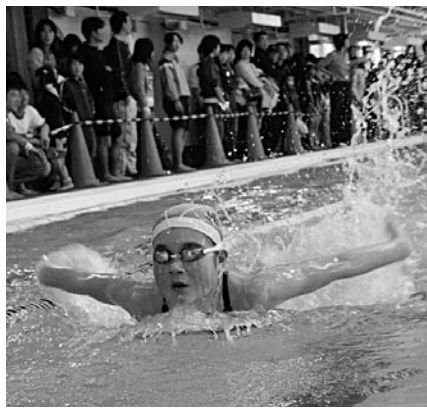


スイマーが集う 市長杯水泳大会

2月22日、袋井B&G海洋センターで、「市長杯室内水泳競技大会」が行われました。
 今回で19回目を迎え、市内外の幼児から70歳以上の方まで368人が参加。富田改さん（袋井スイミングクラブ）が

「日ごろの成果を十分に発揮し、力の限り泳ぎきることを誓います」と宣誓し、競技がスタートすると、プールサイドに詰め掛けた多くの観客から声援が送られ、熱い戦いが繰り広げられました。



春の和食でおもてなし

2月23日、月見の里学遊館で、食のワークショップ「季節の和食く春の料理」が行われました。

講師に鈴木英仁さん（天宏（磐田市）料理長）を招き、春の食材を使った天ぷらやウドのきんぴらなどの和食

に挑戦。参加した皆さんは、講師の手本を見た後、さっそく調理に取り掛かりました。なかなか手本どおりにならないもどかしさを感じながらも、色とりどりの料理を完成させました。



どこから来たの？袋井茶

2月20日、市役所1階市民ホールで約650年前の袋井茶を再現するイベントが開催されました。

袋井茶のPRにと行われたもので、茶生産者の萩原克夫さん（三沢）が来



場者に袋井茶の歴史を説明しながら、当時のお茶を再現し、振る舞いました。

また、御前崎市に伝わる手火山式（てびやま）のお節からだしを取った「たまごふわふわ」の試食会も行われました。



火の用心 春の火災予防運動

春の火災予防運動（3月1日～7日）の実施に伴い、袋井消防署では、市内2保育園の協力を得て、パンフレットなどを配布し、火災予防と住宅用火災警報器の設置促進のキャンペーンを行いました。



2月23日、ジャスコ袋井店で行われた啓発活動には、明和第一保育園の園児26人が防火の法被姿で、来場者に「火の用心をお願いします！」と元気な声で呼び掛けました。



桃の節句を祝う 和のひな人形

2月15日、月見の里学遊館で、和のワークショップ「和のひな人形」づくりが行われました。

参加した皆さんは、布や綿などの材料を使い、ウサギの耳、顔、胴体、着物などを部分ごとに分けて制作。人形の要となる顔は、鼻や口を刺しゅうで施し、ほおや鼻をピンクのほお紅で色づけして、表情豊かに仕上げました。

最後に、別々に制作した部位を縫い合わせて、桃の節句を祝うかわいらしいウサギのおだいらさまとおひなさまができました。

